

令和2年度調達改善計画の年度末自己評価の概要

主な計画内容(年間)

取組実績等

重点的な取組

随意契約事前確認公募

■一般競争入札等から随意契約事前確認公募へ移行することとした案件について、公募期間中以外でも新規参入希望者の発掘が可能となるよう、HPでの恒常的な公表を行う

■随意契約事前確認公募へ移行することとした案件1件を新たにHPで公表を行った。現在11件の案件を掲載して恒常的に新規参入希望者を募っている。

価格交渉

■調達先が特定されている一部の調達案件を対象に、価格の見積根拠等の精査を通じて、調達案件に適切な仕様及び価格となるよう努め、調達コスト削減に努める

■随意契約事前確認公募に移行して令和2年度に契約した、9件の随意契約について価格交渉を実施した結果、契約予定者が当初提示した価格から1,521万円(0.6%)の削減があった。

企画競争及び総合評価落札方式の適正な審査

■「委託事業等における一般競争入札マニュアル」等について、契約を取り巻く状況に合わせ必要に応じ見直しを行う

■「委託事業等における一般競争入札マニュアル」等の改正を行うとともに、省内ポータルに掲載することで調達手続きを明確化した。

庁費類(汎用的な物品・役務)の調達の見直し

■共同調達の実施(金融庁、会計検査院)
◇目標実施数:14類型のうち調達需要があった案件
◇共同調達を実施する案件について、比較可能な物品等を対象に対共同調達開始の前年度比1割程度の削減

■共同調達による調達改善の実施
◇共同調達の調達実績:9類型(残る5類型は調達需要なし)
◇一部商品の定価の値上がり、石油製品価格の値上がりなどの理由により対共同調達開始の前年度比一割程度の削減はできなかったが、事務手続きの効率化が図られた。

共通的な取組

一者応札の事前審査・事後審査の実施・強化

■入札手続き開始の際のチェックリストの活用や一者応札・応募案件のアンケート調査、外部有識者による事後審査等を実施する

■入札手続き開始の際のチェックリストの活用や一者応札・応募案件のアンケート調査、外部有識者による事後審査等を実施し、一者応札・応募の改善に努めた。

電力調達、ガス調達の改善

■一般競争入札により契約を行うことで競争性を高め、調達コスト削減を目指す

■電力の調達について、電力の調達コスト削減や温室効果ガス排出削減に向けて、一般競争入札を7件実施した。
一般競争入札へ移行前の年度と比較可能な案件は5件あり、そのうちの1件では約122万円(30.6%)の削減効果があった。

その他

コピー用紙使用量の削減

■コピー用紙の使用について、両面印刷、集約印刷等を推進し、コピー用紙の削減に努める

■両面印刷・集約印刷の促進について毎月省内にメールで周知することで、前年度と比較して約2,275万枚(39.0%)の削減がなされた。

◇目標の達成状況:令和2年度調達改善計画の全ての取組について着実に実施しており、計画通り進捗